

(新) 奄美地域国立公園指定推進調査費

26百万円(0百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

まとまりのある亜熱帯照葉樹林や多くの固有動植物がみられる奄美地域は、生物多様性の保全上、日本のみならず世界的にも重要な地域であり、第三次生物多様性国家戦略(平成19年11月)においても、国立公園の指定を視野に入れた取組を進めることとされている。

このため、奄美地域を「生物多様性の豊かさを実感できる」新たなタイプの国立公園として保全と利用のあり方を検討し、早期指定を目指した取組を進める。

現地調査により、希少野生動植物の分布情報の充実を図るとともに、生物多様性を体感する適切な利用ルート等を検討する。

国立公園として保全すべき重要な区域、モニタリングを始めとした指定後の保全管理手法、五感を通じた自然体験や地域文化を通じて生物多様性を感じることができる利用のあり方等を検討する。

上記の検討内容等を踏まえ公園計画案を作成するとともに、公園指定に向けた地域における合意形成・普及啓発を推進する。

指定後にモニタリング等の管理手法や利用プログラムを実施・検証することにより、科学的知見に基づく順応的な保全管理体制の充実を図る。

2. 事業計画

事業内容	H21	H22	H23~
現地調査の実施			
生物多様性の保全及び利用のあり方の検討			
公園計画案の作成・合意形成の推進			
管理手法及び利用プログラムの実施・検証			

3. 施策の効果

新たな国立公園の指定により、優れた景観を有し、生物多様性保全上重要な奄美地域の保全と適切な利用を図る。また、生物多様性の普及啓発に資する新たな公園利用の方策を確立する。

4. 備考

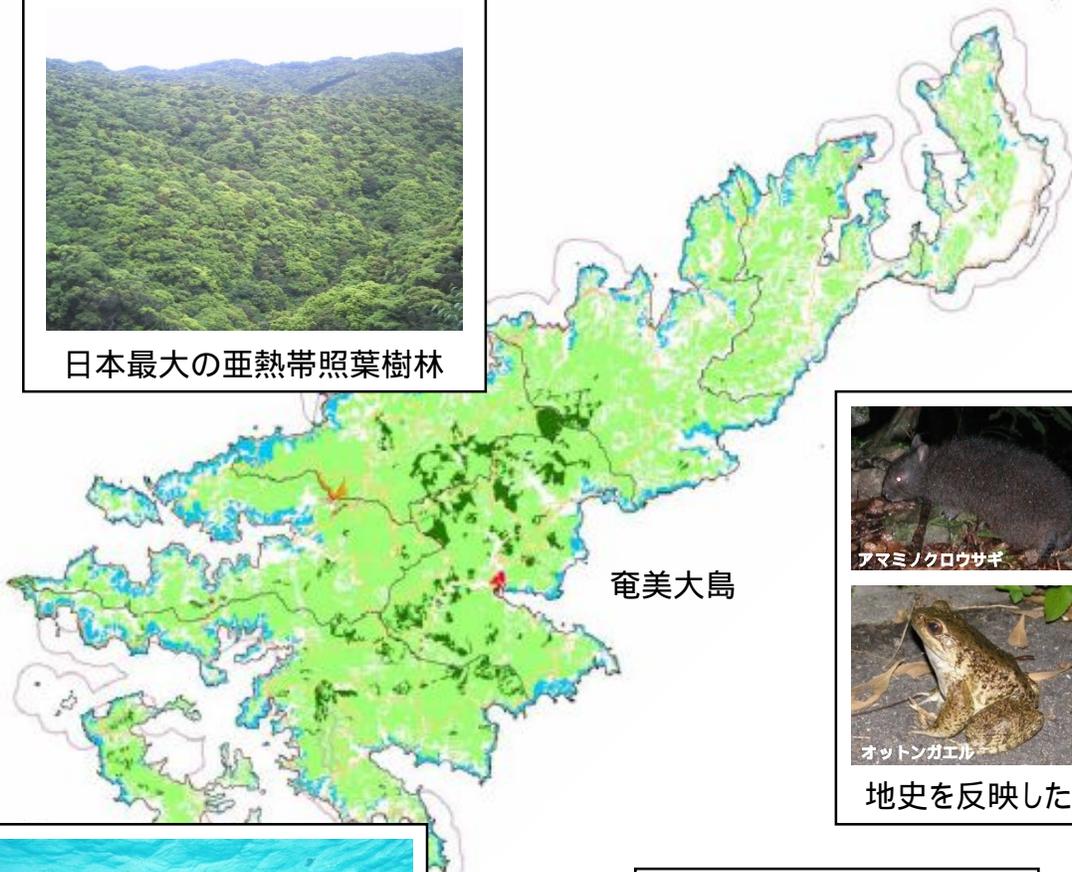
職員旅費(現地調査、検討会等出席)
調査費

1百万円
25百万円

奄美地域国立公園指定推進調査費



日本最大の亜熱帯照葉樹林



奄美大島



アマミノクロウサギ



オオトラツグミ



オットンガエル



アマミセイシカ

地史を反映した多くの固有動植物



北限のサンゴ礁、美しい海岸



自然と関わりの深い文化



奄美地域における生物多様性の保全と利用のあり方の調査・検討

- 生物多様性の豊かさを実感できる国立公園
- 自然に育まれた地域文化とともにある国立公園